

「会議用弁当に関するアンケート」

調査結果

平成 24 年 1 月

福井商工会議所

調査結果の概要

- 弁当を用意する会議は、「社内会議」が 40.3%と最も多い。
次いで「イベント」、「取引先との商談等」となっている。
- 弁当選びのポイント、社内会議用は「予算」、
役員会議用／イベント用は「料理内容・予算」、接待用には「料理内容」。
- 弁当の価格帯は、社内会議／イベントは予算重視で「500 円以上 1,000 未満」、
役員会議／来客接待は内容重視で「1,000 円以上 1,500 円未満」。
- 社内会議は「担当者」が決定することが多く 50.0%。
役員会議／来客接待となると「部課長」以上（役員、社長含む）が決裁している会社が
70%近くにのぼる。
- 弁当を選ぶ際の情報源としては「口コミ」が最も多く 46.3%。
次いで「カタログ」が 28.4%。インターネットよりアナログな情報を信用する会社が多い。
- 弁当の発注先を決めている会社は半数を超える 65.5%。
「取引先だから」、「会社から近いから」といった理由で発注先を決めているところが多い。
- 弁当の美味しさの判断基準は「ごはん」が最も多く 40.3%。
次いで「焼き魚」が 22.4%と、米どころで海の幸が美味しい福井県ならではの点で判断し
ている。
- 会議弁当選び際、担当者の悩みは「ワンパターン化」、「年齢・性別に合わせた選択」、
「油ものの多さ」、「宅配可能かどうか」、「直前の個数変更」、「使い捨て容器の安っぽ
さ、処理しづらさ」。

- 調査期間 平成 23 年 12 月 16 日(金)～12 月 26 日(月)
- 調査方法 FAXによる調査
- 調査目的 県内の法人企業における、役員会議・社内会議・来客接待・イベントなどに用いる「会議弁当」に関する実態を把握し、飲食業や食品製造業に関わる県内企業の商品開発や販売促進等の参考とするべく調査した。
- 調査対象 福井商工会議所の法人会員企業 576 社
- 有効回答数 67 社(回答率 11.6%)

○回答者属性

性別

	回答数	割合(%)
男性	43	64.2
女性	24	35.8
合計	67	100.0

職種

	回答数	割合(%)
経営者	12	17.9
管理職	25	37.3
総務	22	32.8
秘書	4	6.0
営業	2	3.0
その他	2	3.0
合計	67	100.0

業種

	回答数	割合(%)
製造業	17	25.3
建設業	5	7.5
卸売業	10	14.9
小売業	5	7.5
運輸業	5	7.5
サービス業	11	16.4
その他	14	20.9
合計	67	100.0

従業員数

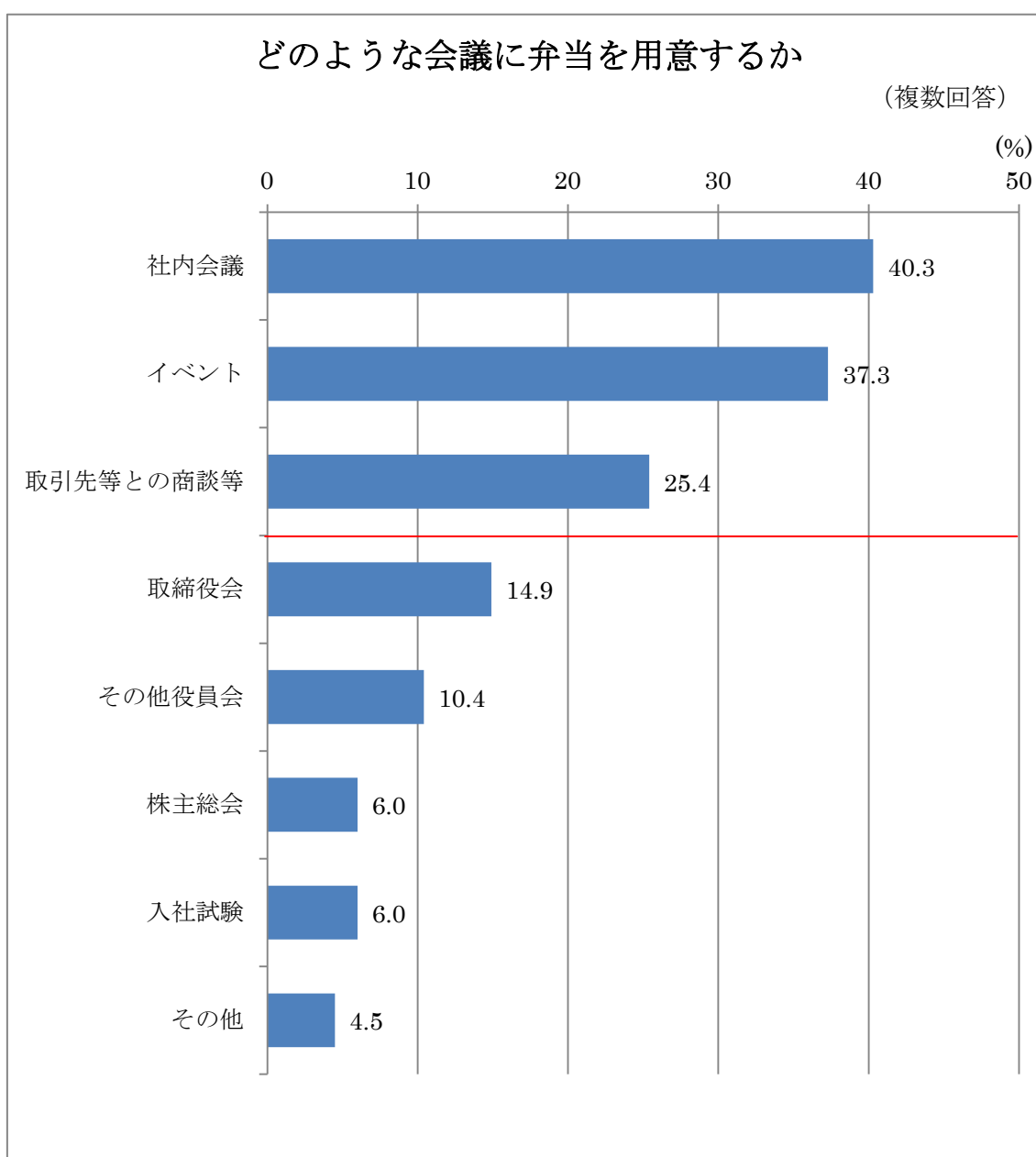
	回答数	割合(%)
1～10 名	7	10.4
11～20 名	8	11.9
21～50 名	12	17.9
51～100 名	15	22.4
100 名以上	6	9.0
不明	19	28.4
合計	67	100.0

調査結果

Q1. どのような会議で弁当を用意するか

内部会議を中心に、あらゆる場面で弁当を利用

企業では、会議や研修会など様々なシーンで、弁当を提供する機会がある。そこで、具体的にどのような場面で弁当を必要としているかを調査したところ、弁当を用意する会議としては、「社内会議」が40.3%と最も多い。次いで「イベント」が37.3%、「取引先との商談等」が25.4%と、内部会議を中心に、イベント、商談など幅広い場面で弁当は用いられている。

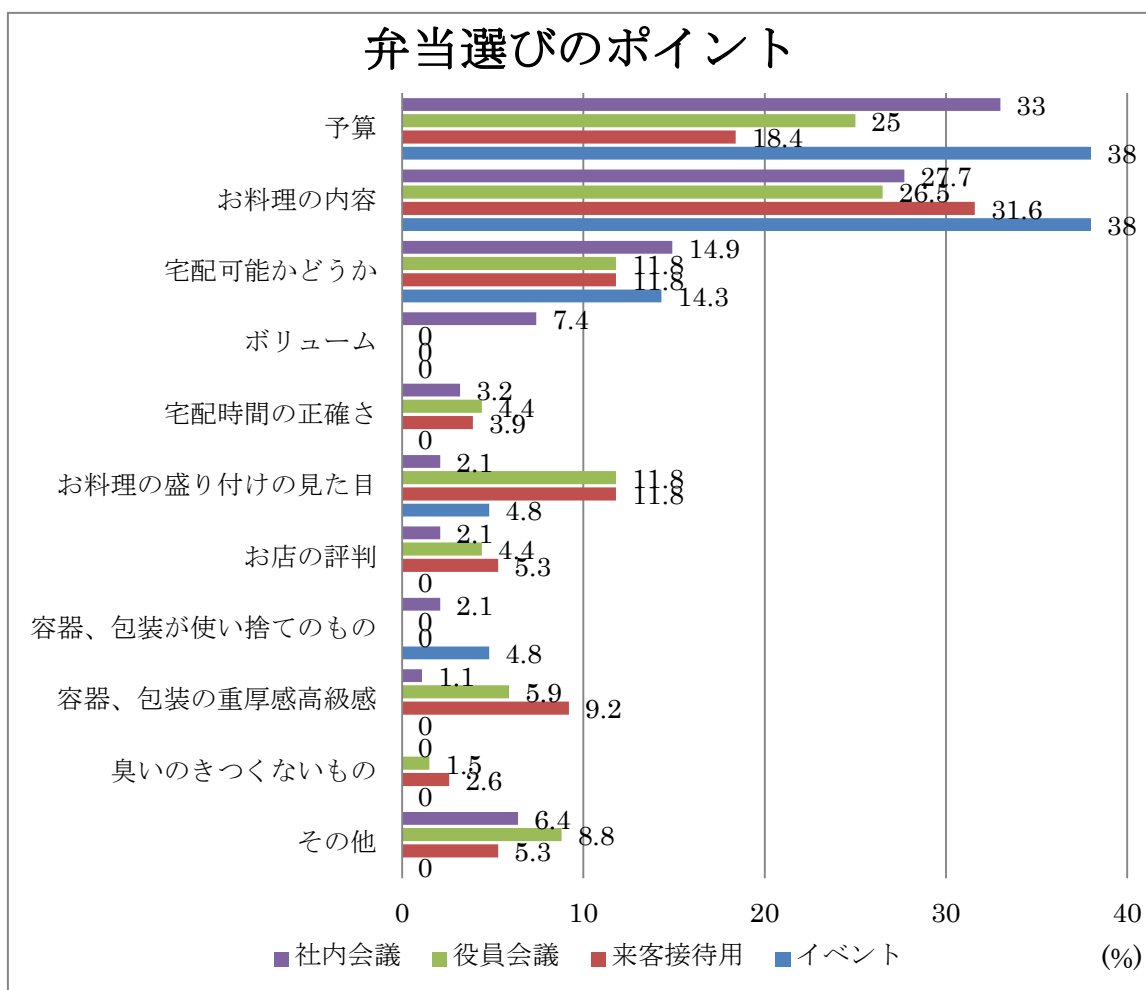


Q2 弁当選びのポイントは

社内会議用は「予算」、役員会議用とイベント用は「料理内容・予算」、接待用は「料理内容」が一番のポイント

弁当を選ぶ際のポイントについて、社内会議用、役員会議用、来客接待用、イベント用の目的別に選択のポイントを調査したところ、社内会議は「予算」が最も多く、33.0%。役員会議は「料理内容」、「予算」が多く、それぞれ26.5%、25.0%。来客接待は「料理内容」が最も多く31.6%。イベントは「料理内容・予算」が同数で38.0%となっている。また、値段や内容といった弁当そのもの以外では、「宅配可能かどうか」が選ぶ際のポイントになっている。

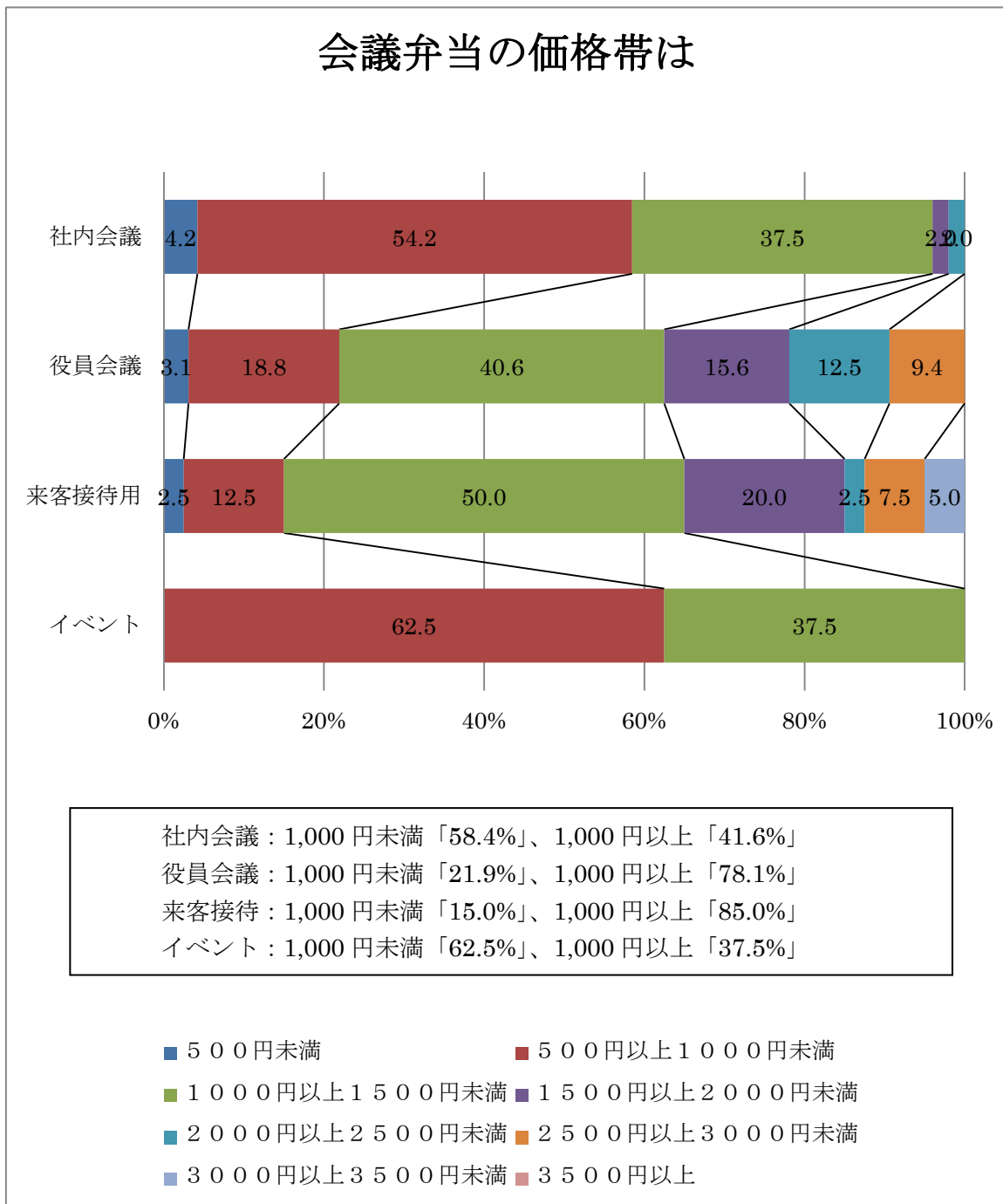
	社内会議	役員会議	来客接待	イベント
1位	予算(33.0%)	料理内容(26.5%)	料理内容(31.6%)	予算／料理内容 (38.0%)
2位	料理内容 (27.7%)	予算 (25.0%)	予算 (18.4%)	
3位	宅配可能か (31.6%)	盛付見た目 ／宅配可能か (11.8%)	盛付見た目 ／宅配可能か (11.8%)	宅配可能か (14.3%)
4位	ボリューム (7.4%)			盛付見た目 ／容器使い捨て (4.8%)
5位	宅配時間(3.2%)	高級感(5.9%)	高級感(9.2%)	(4.8%)



Q3 会議弁当の価格帯は

社内会議は 54.2%、イベントは 62.5%が予算重視で「500 円以上 1,000 円未満」
役員会議は 40.6%、接待は 50.0%が、料理内容重視で「1,000 円以上 1,500 円未満」

社内会議は「予算」重視で選ぶことから「500 円以上 1,000 円未満」が 54.2%。イベントも「500 円以上 1,000 円未満」が 62.5%と多くなっている。イベントは他の会議などに比べ、発注数が多いため単価を低めにしていると考えられる。役員会議は「1,000 円以上 1,500 円未満」が 40.6%。来客接待は「1,000 円以上 1,500 円未満」が 50.0%と、役員・接待には「料理内容」を重視して選んでいるため価格帯も高額になっている。

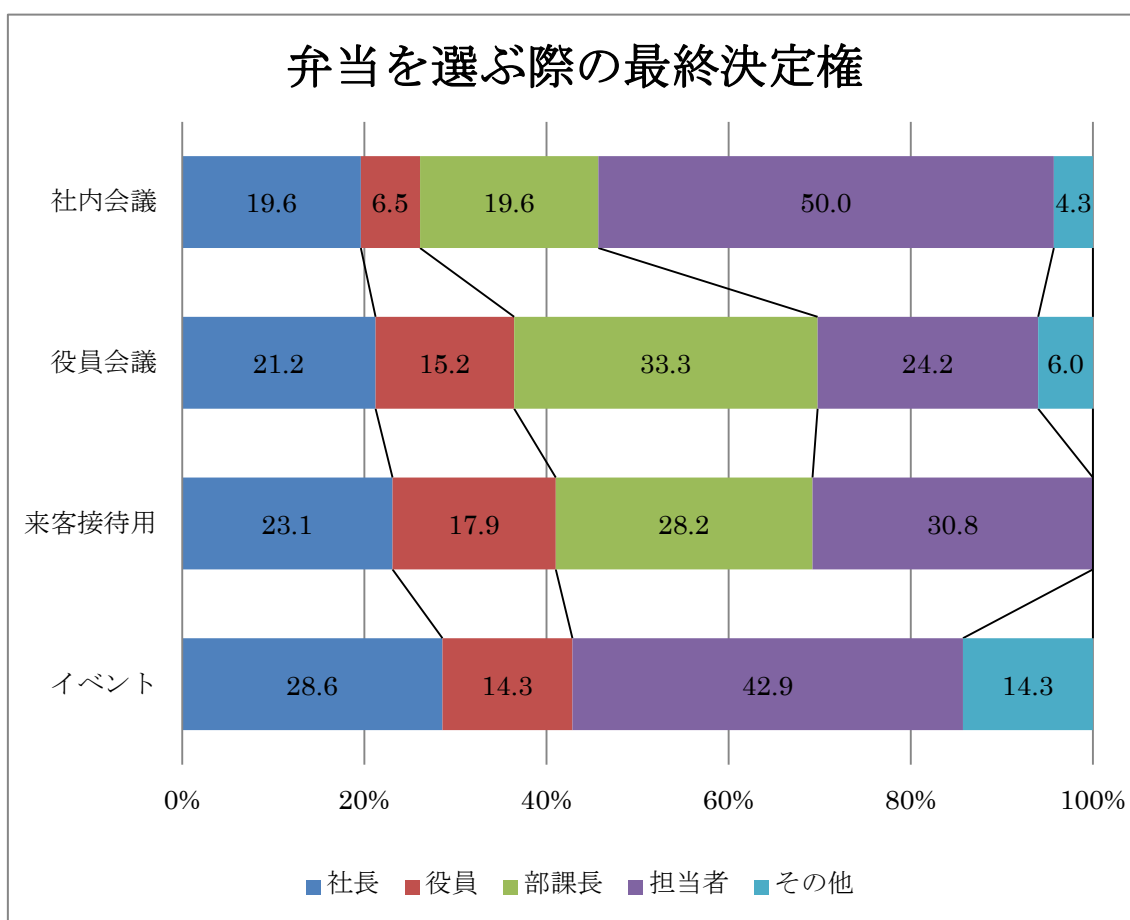


Q4 弁当を選ぶ際の最終決定権は

社内会議、イベント用弁当は、「担当者」が、
役員会議、来客接待用弁当は、「部課長」以上で決定

社内会議は「担当者」が決定することが多く50.0%で、「部課長」以上の合計45.7%と比べても担当者が決定していることの方が多い。

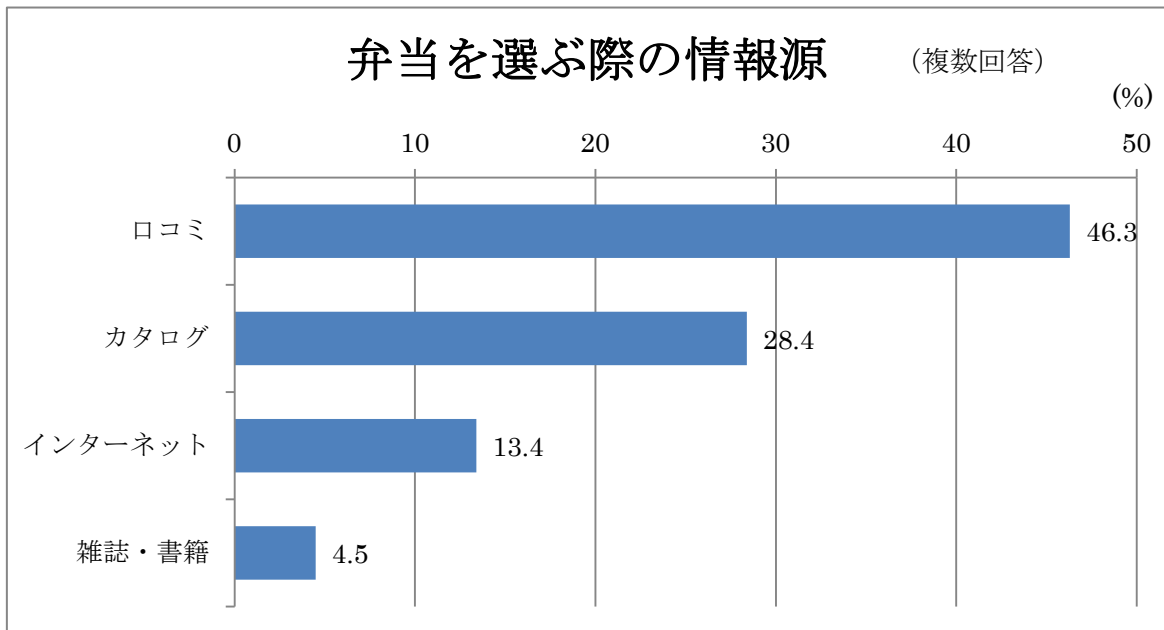
接待も担当者が最も多く30.8%となっているが、「部課長」以上の合計は69.2%となり、担当者を大きく上回っている。重要な取引先ほど上の役職が決定しているためと思われる。また、役員会議においても「部課長」以上の決裁が69.7%にのぼっており、役員や社外に対しては管理職以上が決定していることが多い。



Q5 弁当を選ぶ際の情報源は

弁当選びにおいて最も利用するのは「口コミ」

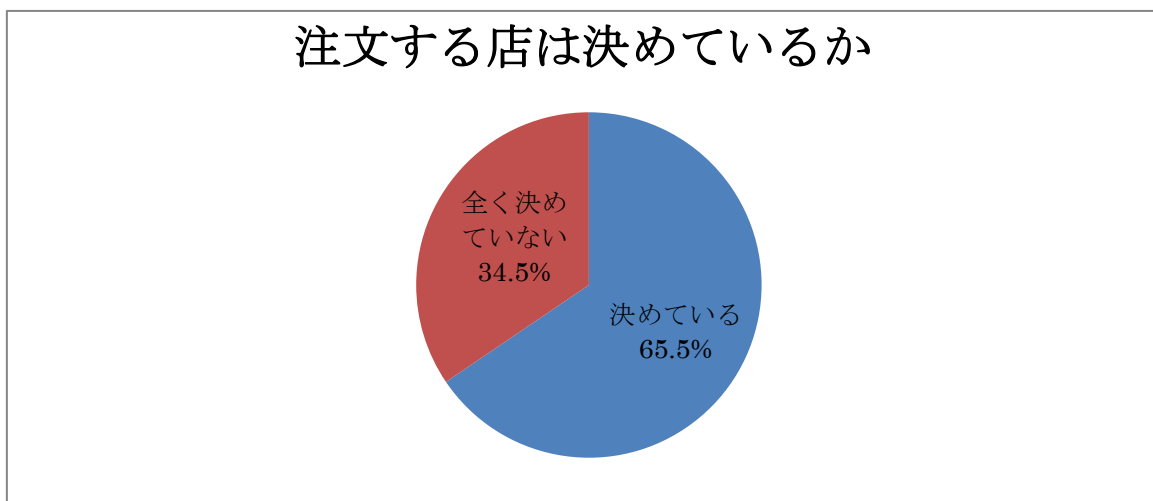
弁当を選ぶ際の情報源として最も利用されているのは「口コミ」が46.3%。次いで「カタログ」が28.4%。インターネットは13.4%にとどまり、評価サイトなどではなく、身近な情報を信用する会社が多い。



Q6 注文する店は決めているか

65.5%が予め決まったところで弁当を手配

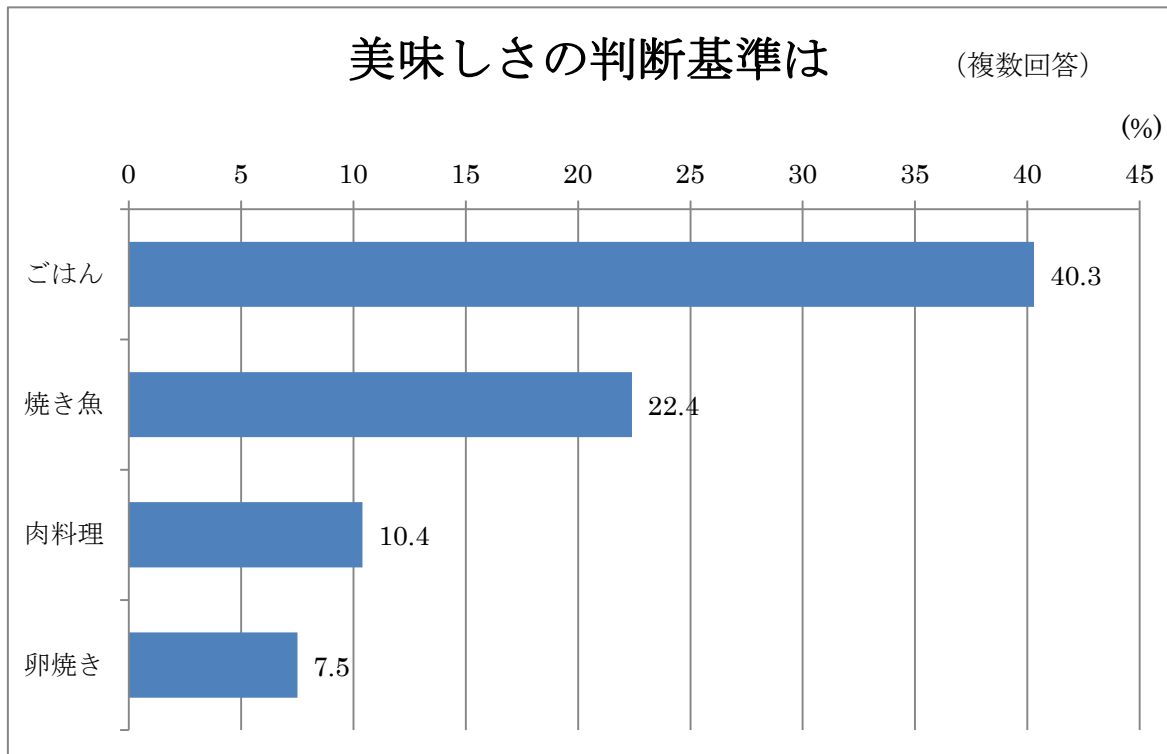
弁当の発注先を決めている会社は65.5%を占めた。決まった店がある会社は、弁当の内容・値段以外にも、「取引先だから」、「会社から近いから」といった理由で発注先を決めているところが多い。



Q7 弁当の美味しさの判断基準は

美味しさの判断基準は、福井ならではの「ごはん」が一番

弁当の美味しさを判断する上で、判断基準となるのは「ごはん」が最も多く40.3%。次いで「焼き魚」が22.4%と、米どころで海の幸が美味しい福井県ならではのポイントで判断している会社が多い。



Q8. 会議弁当選びの悩み (自由意見より)

弁当選びの悩みは「ワンパターン化」、「年齢・性別に合わせた選択」、「油ものが多い」、「宅配可能かどうか」、「直前の個数変更」、「使い捨て容器の安っぽさ、処理しづらさ」

会議弁当を選ぶ際の悩みを自由意見として調査したところ、

「ワンパターン化」、「年齢層や性別に合わせて選ぶのが難しい」、「油ものが多いか」、「宅配が可能かどうか」、「直前の個数変更」、「容器などゴミの処理」、「使い捨て容器ばかりで安っぽく見える」などが悩みのキーワードとして表れていた。発注先のワンパターン化、老若男女問わず食べられるような弁当があまりない、油もの(あげもの)が多い、使い捨て容器の安っぽさ・処理のしづらさというのが多くの担当者の共通の悩みのようなのである。